

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-168649

(P2014-168649A)

(43) 公開日 平成26年9月18日(2014.9.18)

(51) Int.Cl.  
A62B 18/02 (2006.01)F1  
A62B 18/02テーマコード (参考)  
2E185

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2013-217963 (P2013-217963)  
 (22) 出願日 平成25年10月21日 (2013.10.21)  
 (62) 分割の表示 特願2013-537340 (P2013-537340)  
                   の分割  
           原出願日 平成25年3月13日 (2013.3.13)  
 (31) 優先権主張番号 特願2013-22788 (P2013-22788)  
 (32) 優先日 平成25年2月8日 (2013.2.8)  
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 303050207  
           株式会社ビー・エヌ  
           群馬県桐生市宮本町 3-8-31  
 (74) 代理人 100092808  
           弁理士 羽鳥 亘  
 (74) 代理人 100140981  
           弁理士 中村 希望  
 (72) 発明者 金子 功  
           群馬県桐生市宮本町 3-8-31 株式会  
           社ビー・エヌ内  
 Fターム(参考) 2E185 AA07 BA08 CC36

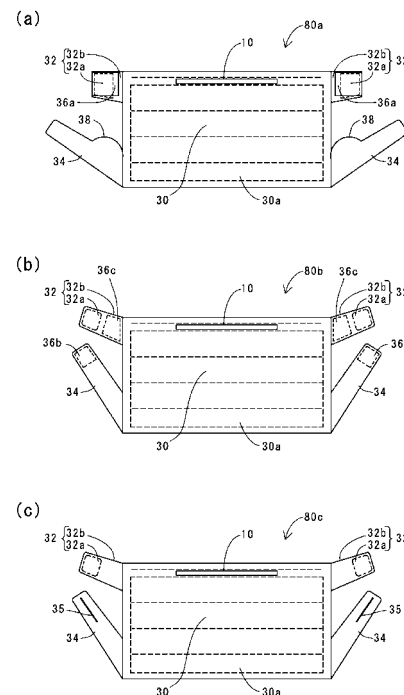
(54) 【発明の名称】 マスク

## (57) 【要約】

【課題】粘着部を剥がすことなく口部を露出することが可能なマスクを提供する。

【解決手段】本発明に係るマスク80a、80b、80cは、着用者Yの顔面に粘着部32aを密着して保持するタイプのマスクでありながら、粘着部32aの密着状態を維持したまま口部の露出を行うことができる。これにより、着用者Yは、マスク80a、80b、80cを着用したまま、気軽に口部を露出して会話やちょっとした飲食を行うことができる。

【選択図】図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

通気性を備え着用者の鼻部及び口部を覆うマスク面布と、  
前記マスク面布の両側部に設けられ前記マスク面布を着用者の顔面に保持する保持部材と、  
を備えたマスクにおいて、  
前記保持部材は、前記マスク面布の両側上部に設けられた一对の第 1 保持部と、前記マスク面布の両側下部に設けられ前記第 1 保持部よりも長く且つ斜め上方向を向くように形成された一对の第 2 保持部と、を有し、  
前記第 1 保持部は、着用者の頬骨部分に密着して前記マスク面布を着用者の顔面に保持する粘着部と、粘着部材を有さない非粘着部と、を備え、  
前記非粘着部と第 2 保持部とを繋げることで、前記粘着部の密着を維持したままマスク面布下部の口部露出のための移動を可能としたことを特徴とするマスク。

10

**【請求項 2】**

第 1 保持部の顔面側の面に粘着部を備え、第 1 保持部の外側の面に非粘着部を備え、前記非粘着部に設けられた面ファスナにより、非粘着部と第 2 保持部とを繋げるとともに、第 2 保持部の側辺にはマスク面布の側方を閉塞するアール部を備えたことを特徴とする請求項 1 記載のマスク。

**【請求項 3】**

第 2 保持部に形成されたスリットに第 1 保持部を通すことで、非粘着部と第 2 保持部とを繋げることを特徴とする請求項 1 記載のマスク。

20

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、通気性を備え着用者の鼻部、口部を覆うマスクに関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

近年、インフルエンザその他の空気感染症に対する予防やスギ花粉等のアレルギー対策として、着用者の鼻部及び口部を覆うマスクが一般的に使用されている。これらマスクの面布には多種多様な形状、材質、構成のものが商品化されている。ただし、マスク面布の保持は、マスク面布の両側部に設けられたゴム紐等の保持部材を着用者の耳に掛けることで行われるのが一般的である。しかしながら、耳に掛けるタイプの保持部材は着用者が耳に不快感や痛みを感じる場合がある。この問題点に対して下記「特許文献 1」では、マスク面布の保持を着用者の顔面に貼り付ける粘着部により行う発明が開示されている。

30

**【先行技術文献】****【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2007 - 020983 号公報

**【発明の概要】**

40

**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながら、マスクの着用により会話に支障がある場合や、飴やペットボトル飲料等のちょっとした飲食のため、短時間口部分を露出する場合がある。この場合、「特許文献 1」に記載のマスクでは、その都度粘着部の付け剥がしが必要となり煩わしいという問題点がある。

**【0005】**

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、粘着部を剥がすことなく口部を露出することが可能なマスクを提供することを目的とする。

**【課題を解決するための手段】**

50

## 【 0 0 0 6 】

本発明は、

( 1 ) 通気性を備え着用者の鼻部及び口部を覆うマスク面布 3 0 と、前記マスク面布 3 0 の両側部に設けられ前記マスク面布 3 0 を着用者 Y の顔面に保持する保持部材と、を備えたマスクにおいて、

前記保持部材は、前記マスク面布 3 0 の両側上部に設けられた一对の第 1 保持部 3 2 と、前記マスク面布 3 0 の両側下部に設けられ前記第 1 保持部 3 2 よりも長く且つ斜め上方向を向くように形成された一对の第 2 保持部 3 4 と、を有し、

前記第 1 保持部 3 2 は、着用者 Y の頬骨部分に密着して前記マスク面布 3 0 を着用者 Y の顔面に保持する粘着部 3 2 a と、粘着部材を有さない非粘着部 3 2 b と、を備え、

前記非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 とを繋げることで、前記粘着部 3 2 a の密着を維持したままマスク面布下部 3 0 a の口部露出のための移動を可能としたことを特徴とするマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c を提供することにより、上記課題を解決する。

( 2 ) 第 1 保持部 3 2 の顔面側の面に粘着部 3 2 a を備え、第 1 保持部 3 2 の外側の面に非粘着部 3 2 b を備え、前記非粘着部 3 2 b に設けられた面ファスナ 3 6 a により、非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 とを繋げるとともに、第 2 保持部 3 4 の側辺にはマスク面布 3 0 の側方を閉塞するアール部 3 8 を備えたことを特徴とする上記 ( 1 ) 記載のマスク 8 0 a を提供することにより、上記課題を解決する。

( 3 ) 第 2 保持部 3 4 に形成されたスリット 3 5 に第 1 保持部 3 2 を通すことで、非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 とを繋げることを特徴とする上記 ( 1 ) 記載のマスク 8 0 c を提供することにより、上記課題を解決する。

## 【 発明の効果 】

## 【 0 0 0 7 】

本発明に係るマスクによれば、粘着部を剥がすことなく着用者の口部分を露出することができる。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 0 8 】

【 図 1 】 本発明に係るマスクを示す図である。

【 図 2 】 襷部を有する本発明に係るマスクを示す図である。

【 図 3 】 第 1 の形態のマスクの着用状態を示す図である。

【 図 4 】 第 2 の形態のマスクの着用状態を示す図である。

【 図 5 】 第 3 の形態のマスクの着用状態を示す図である。

## 【 発明を実施するための形態 】

## 【 0 0 0 9 】

本発明に係るマスクの実施の形態について図面に基づいて説明する。ここで、図 1 は本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c を正面から見た図である。また、図 2 は襷部を有する本発明に係るマスク 8 0 b、8 0 c を示す図である。また、図 3、図 4、図 5 は本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c の着用状態を示す図である。

## 【 0 0 1 0 】

先ず、本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c に共通する構成を説明する。図 1 に示す本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c は、通気性を備え着用者 Y の鼻部及び口部を覆うマスク面布 3 0 と、マスク面布 3 0 の両側上部に設けられた一对の第 1 保持部 3 2 と、マスク面布 3 0 の両側下部に設けられた一对の第 2 保持部 3 4 と、を有している。

## 【 0 0 1 1 】

第 1 保持部 3 2 は、先端側でかつ着用者側に設置され着用者 Y の頬骨部分に密着することでマスク面布 3 0 を着用者 Y の顔面に保持する粘着部 3 2 a と、粘着部材を備えていない非粘着部 3 2 b と、を有している。尚、第 2、第 3 の形態のマスク 8 0 b、8 0 c では、第 1 保持部 3 2 はマスク面布 3 0 の上辺に対して若干斜め上方に向くように形成することが好ましい。

## 【 0 0 1 2 】

また、第 2 保持部 3 4 は第 1 保持部 3 2 よりも長く、マスク面布 3 0 の上辺に対して斜め上方に向くように形成する。そして、第 1 保持部 3 2、第 2 保持部 3 4 には、第 2 保持部 3 4 と第 1 保持部 3 2 の非粘着部 3 2 b とを繋ぐための連結手段が設置される。

【0013】

尚、図 2 (a)、(b) に示すように、マスク面布 3 0 の側辺にはマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c の密閉性を高める襷部 2 0 を設けても良い。尚、図 2 ではマスク 8 0 b、8 0 c に襷部 2 0 を設けた例を示している。

【0014】

マスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c のマスク面布 3 0 は、従来のマスク面布に用いられる周知の紙や布を使用することができる。特に、安価で使い捨てが可能な不織布を用いることが好ましい。また、マスク面布 3 0 の上辺部には、容易に変形が可能な変形部材 1 0 を設置しても良い。この変形部材 1 0 は例えば金属製のワイヤや薄板で形成されており、着用者 Y が自身の鼻部にフィットするように変形させることで、マスク面布 3 0 上部における鼻部梁横部分の密閉性を更に向上させることができる。

【0015】

また、本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c の粘着部 3 2 a としては、複数回の粘着が可能なシリコンゲル系の粘着剤を用いることが好ましい。そして、粘着部 3 2 a は、シリコンゲル系の粘着テープを第 1 保持部 3 2 に固定することで形成することが好ましい。ここで、シリコンゲル系の粘着剤は低刺激でかぶれにくく、またアレルギーの原因物質にもなりにくいという特徴を有している。このため、乳幼児や高齢者、アレルギーを有する人等にも問題なく使用することができる。また、シリコンゲル系の粘着剤は着用者 Y の肌に密着する形で粘着力を発揮する。ただし、粘着剤自体の粘着力はさほど強くないため、粘着部 3 2 a を剥がす際にも肌の角質成分を引き剥がすことがない。このため、着用者 Y は粘着部 3 2 a を剥がす際にも痛みを感じず、また肌がダメージを受けることもない。さらに、粘着部 3 2 a は着用者の顔面に施された化粧の上からでも十分な粘着力を発揮するとともに、粘着部 3 2 a を剥がす際にも化粧落ちがほとんど生じない。このように、粘着部 3 2 a には角質成分や化粧が付着しないため、複数回の付け外しを行っても粘着力の劣化がほとんど発生しない。このため、何回付け外しを行っても強い粘着力を維持することができる。

【0016】

尚、マスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c は、マスク面布 3 0 の横方向に沿って複数のプリーツ（折り返し）が形成されており、着用時にマスク面布 3 0 を上下方向に引くことで、マスク面布 3 0 の縦寸法を調整することができる。また、非着用時はマスク面布 3 0 を左右方向に引くことで、図 1 の状態に復帰する。

【0017】

次に、本発明に係る第 1 の形態のマスク 8 0 a の説明を行う。本発明に係る第 1 の形態のマスク 8 0 a は、第 1 保持部 3 2 の顔面側の面に粘着部 3 2 a を備え、第 1 保持部 3 2 の外側の面、即ち粘着部 3 2 a の裏面側に連結手段としての面ファスナ 3 6 a を備えている。尚、第 2 保持部 3 4 を面ファスナ 3 6 a と係合可能な不織布等で形成することにより、第 2 保持部 3 4 の任意の箇所第 2 保持部 3 4 と面ファスナ 3 6 a とを係合することができる。

【0018】

また、第 2 保持部 3 4 の内側（上側）側辺にはアール部 3 8 が形成されている。このアール部 3 8 はマスク 8 0 a の着用時にマスク面布 3 0 の側方を閉塞しマスク面布 3 0 の密閉度を向上させる機能を有している。

【0019】

そして、マスク 8 0 a の着用時には、図 3 に示すように、第 1 保持部 3 2 の粘着部 3 2 a を着用者 Y の頬骨部分に密着させた上で、第 2 保持部 3 4 を第 1 保持部 3 2 の面ファスナ 3 6 a と係合させる。また、マスク面布 3 0 の側方を第 2 保持部 3 4 のアール部 3 8 で塞ぐ。これにより、第 1 保持部 3 2 の非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 とが繋がるととも

に、マスク面布下部 3 0 a は着用者 Y の顔面に保持される。そして、口部を露出させるときには、着用者 Y がマスク面布下部 3 0 a を上側（鼻部側）へ持ち上げる。このとき、第 2 保持部 3 4 はマスク面布下部 3 0 a の移動に応じて撓み、マスク面布下部 3 0 a の移動の影響は粘着部 3 2 a にはほとんど及ばない。このため、粘着部 3 2 a の密着状態は維持される。これにより、着用者 Y は粘着部 3 2 a の付け剥がしを行うことなく、簡単且つ気軽に口部の露出を行うことができる。

#### 【 0 0 2 0 】

次に、本発明に係る第 2 の形態のマスク 8 0 b の説明を行う。本発明に係る第 2 の形態のマスク 8 0 b は、第 2 保持部 3 4 の先端部分に連結手段としての面ファスナ 3 6 b が設置されている。また、粘着部 3 2 a とマスク面布 3 0 との間に位置する非粘着部 3 2 b には面ファスナ 3 6 b と係合する面ファスナ 3 6 c が設置されている。そして、マスク 8 0 b の着用時には、図 4（a）に示すように、第 2 保持部 3 4 の面ファスナ 3 6 b と第 1 保持部 3 2 の面ファスナ 3 6 c とを係合させた上で、第 1 保持部 3 2 の粘着部 3 2 a を着用者 Y の頬骨部分に密着させる。これにより、第 1 保持部 3 2 の非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 の先端部とが繋がるとともに、マスク面布下部 3 0 a は着用者 Y の顔面に保持される。そして、口部を露出させるときには、着用者 Y がマスク面布下部 3 0 a を上側（鼻部側）へ持ち上げる。このとき、第 2 保持部 3 4 はマスク面布下部 3 0 a の移動に応じて撓み、マスク面布下部 3 0 a の移動の影響は粘着部 3 2 a にはほとんど及ばない。このため、粘着部 3 2 a の密着状態は維持される。これにより、着用者 Y は粘着部 3 2 a の付け剥がしを行うことなく、簡単且つ気軽に口部の露出を行うことができる。

10

20

#### 【 0 0 2 1 】

次に、第 3 の形態のマスク 8 0 c の説明を行う。本発明に係る第 3 の形態のマスク 8 0 c は、第 2 保持部 3 4 の先端側に連結手段としてのスリット 3 5 が形成されている。そして、マスク 8 0 c の着用時には、図 5（a）に示すように、このスリット 3 5 に第 1 保持部 3 2 を通し、第 1 保持部 3 2 の粘着部 3 2 a とマスク面布 3 0 との間に位置する非粘着部 3 2 b の位置まで挿し入れた上で、第 1 保持部 3 2 の粘着部 3 2 a を着用者 Y の頬骨部分に密着させる。これにより、第 1 保持部 3 2 の非粘着部 3 2 b と第 2 保持部 3 4 の先端部とが繋がるとともに、マスク面布下部 3 0 a は着用者 Y の顔面に保持される。そして、口部を露出させるときには、図 5（b）に示すように、着用者 Y がマスク面布下部 3 0 a を上側（鼻部側）へ持ち上げる。このとき、第 2 保持部 3 4 はマスク面布下部 3 0 a の移動に応じて撓み、マスク面布下部 3 0 a の移動の影響は粘着部 3 2 a にはほとんど及ばない。このため、粘着部 3 2 a の密着状態は維持される。これにより、着用者 Y は粘着部 3 2 a の付け剥がしを行うことなく、簡単且つ気軽に口部の露出を行うことができる。

30

#### 【 0 0 2 2 】

以上のように、本発明に係るマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c は、着用者 Y の顔面に粘着部 3 2 a を密着して保持するタイプのマスクでありながら、粘着部 3 2 a の密着状態を維持したまま口部の露出を行うことができる。これにより、着用者 Y はマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c を着用したまま、気軽に口部を露出して会話やちょっとした飲食を行うことができる。

40

#### 【 0 0 2 3 】

尚、本例で示したマスク 8 0 a、8 0 b、8 0 c のデザインは一例であり、マスク面布 3 0、第 1 保持部 3 2、第 2 保持部 3 4、粘着部 3 2 a、連結手段等の各部の寸法、形状、構成等は、本発明の要旨を逸脱しない範囲で変更して実施することが可能である。

#### 【 符号の説明 】

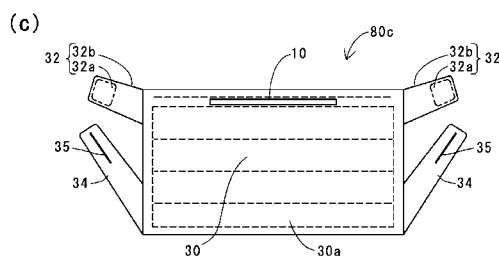
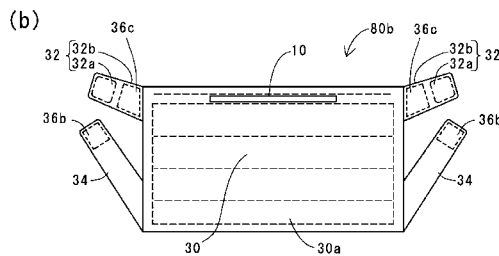
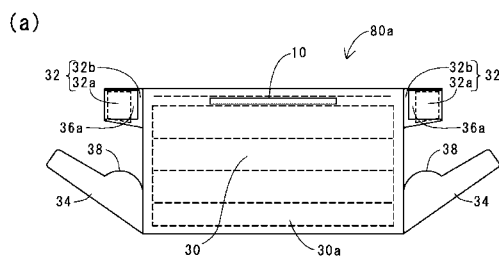
#### 【 0 0 2 4 】

3 0	マスク面布
3 0 a	マスク面布下部
3 2	第 1 保持部
3 2 a	粘着部
3 2 b	非粘着部

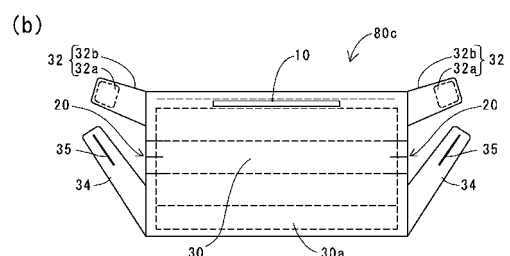
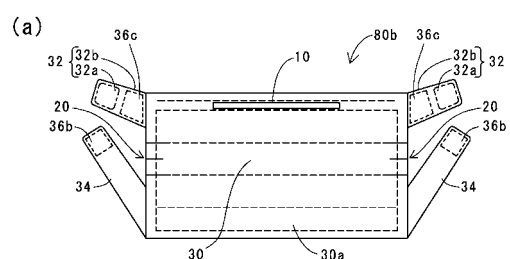
50

- 34 第2保持部  
 35 スリット  
 36a、36b、36c 面ファスナ  
 38 アール部  
 80a、80b、80c マスク  
 Y 着用者

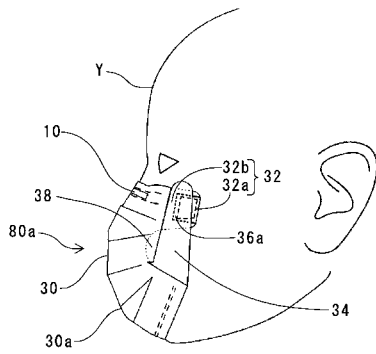
【図1】



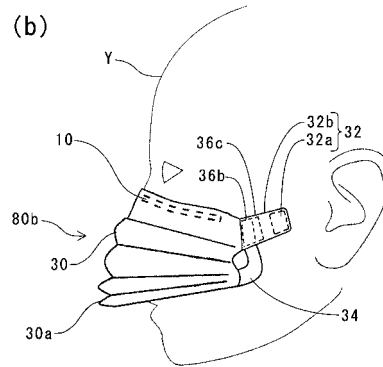
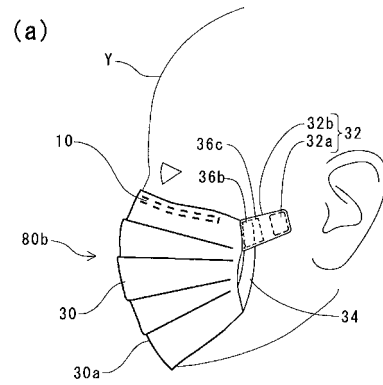
【図2】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

